

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

基本的な文法項目の理解を図る。この知識を基に簡単な英文を読む訓練を行う。下記が学習する文法項目で、毎週およそ1項目を学習する予定である。それと、語彙力をつけるため、毎週単語テストを行う。

1. be動詞・現在
2. 一般動詞・現在
3. 多様な疑問文
4. be動詞・過去
5. 一般動詞・過去
6. 特殊な文
7. 未来形
8. 進行形
9. 助動詞
10. 英文の型

なお、1度コンピュータを用いて英作文を行う。最後の週に期末試験を行う。

【教科書】

カレッジ英文法入門(南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

単語テストが25パーセント、期末試験が75パーセント

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟505室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。授業の初めに随時小テストを行い、授業の理解度を図る。

【授業項目】

- I. 以下のトピックを中心に授業を展開する。
 - (1) 関係代名詞、受動態(1.5回)
 - (2) 分詞の叙述用法、不定冠詞の基本的用法(1.5回)
 - (3) 現在完了形、不定詞を用いた慣用表現(1.5回)
 - (4) 郡接続詞、相関接続詞(1.5回)
 - (5) 再帰代名詞を用いた慣用表現(1.5回)
 - (6) 不定代名詞、独立不定詞(1.5回)
 - (7) 仮定法、2語からなる句前置詞(1.5回)
 - (8) 使役、動名詞(1.5回)
 - (9) 複合関係代名詞、形式目的(1回)
 - (10) 関係代名詞を用いた慣用表現、動名詞を用いた慣用表現(1回)
 - (11) 期末試験(1回)

【教科書】

Useful College English (誠美堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 成績評価
小テスト40%、期末テスト60%
- II. 評価項目
 - (1) 文章を読んで、素早く大意を把握することができるか。
 - (2) 読解・リスニングの基礎的な力が備わっているか。
 - (3) 平常から英語学習に取り組んでいるか。(小テストの結果を参照)

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
授業に際しては辞典を持参すること。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503、物質・材料 経営情報1号棟509

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。授業の初めに随時小テストを行い、授業の理解度を図る。

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1:Professor's Self-Introduction (Listening &/or Reading Comprehension); Explanation of the Course

Week 2:Student Self-Introductions (Oral & Written); Professor's Memory Challenge

Week 3:"Billy Badboy": A Consciousness-Raising Grammar Challenge

Week 4:"Billy Badboy": Review

Week 5:Article 1 (Reading Comprehension)

Week 6:Article 2 (Reading Comprehension)

Week 7:Articles 1 & 2, Part 2 (Grammar, Syntax, & Discourse Analysis)

Week 8:In-Class Writing: Presentation 1

Week 9:Oral Presentation 1

Week 10:Article 3 (Reading Comprehension)

Week 11:Article 4 (Reading Comprehension)

Week 12:Articles 3 & 4, Part 2/Reflective Writing

Week 13:In-Class Writing: Presentation 2

Week 14:Oral Presentation 2

Week 15:"If The World Were A Village of 100 People"

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises (primarily comprehension quizzes); writing assignments (primarily responses to "thought questions" raised by the readings); and oral presentations. All graded activities will count equally unless otherwise noted by the professor. The majority of assignments will be done during supervised class hours.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

コンピュータ関連の英語を理解することがこの授業の目的である。基礎的な語彙を覚えて、簡単な文献を読めるようになることが目標である。

【授業キーワード】

コンピュータ英語

【授業内容及び授業方法】

コンピュータを扱った教材を用い、基礎的な文法項目を確認しながら、コンピュータに関する英語を学ぶ。コンピュータの専門科目ではないので、使用する教材は、工学部の学生であれば誰でも理解できるような基礎的な概念を扱ったものである。教科書を読みながら、基本的な文法事項の確認も行う。

【授業項目】

試験の週を除いた14週の予定である。6週目、14週目以外は教科書で学ぶ内容である。最後の週に期末試験を行う。

1. Introduction
2. Types of Computers
3. The Computer's Brain
4. Memory
5. Mass Storage
6. コンピュータを用いて情報の検索、英作文を行う
7. Input
8. Output
9. System and Application Software
10. Programming
11. Programming Languages
12. User-friendliness
13. Hackers and Viruses
14. コンピュータを用いて情報の検索、英作文を行う

【教科書】

Basics in Technical English (柏松社)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題25パーセント、期末試験75パーセント

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟506

【授業目的及び達成目標】

コミュニケーションに役立つ語法を中心に基礎英文法を学習する。合わせてTOEICのリスニング・テストに備える。

【授業キーワード】

基礎英文法、TOEICリスニング、コミュニケーション能力

【授業内容及び授業方法】

授業の初めに毎回、TOEIC対策のリスニング・テストを行う。専門分野の英語を読んだり、英語で論文を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解して欲しい英文法を数十のポイントにまとめ、それを学習した後、理解度を基本練習問題と応用練習問題で確認する。

【授業項目】

品詞・文型、句・節・文、名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、時制、進行形、完了形、助動詞、不定詞

【教科書】

Basic Grammar for College Students (大学生のための基礎英文法—グラマーからリーディングへ—) 小中秀彦、成美堂

【参考書】

英文法を知ってますか」渡部昇一 文春新書
「リーダーズ英和辞典」研究社

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均)20%、教科書の理解度についてのテスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

基本的な文法項目の理解を図る。この知識を基に簡単な英文を読む訓練を行う。下記が学習する文法項目で、毎週およそ1項目を学習する予定である。それと、語彙力をつけるため、毎週単語・熟語テストを行う。

1. 受動態
2. 比較
3. 完了形
4. 不定詞
5. 分詞
6. 動名詞
7. 節
8. 関係代名詞
9. 熟語
10. 会話文とit の用法

【教科書】

カレッジ英文法入門(南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト・熟語テストが25パーセント、期末試験が75パーセント

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟505室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
授業の初めに、随時小テストを行う。

【授業項目】

- I. 以下のトピックを中心に授業を展開する。
 - (1) 分詞構文、準否定語(1.5回)
 - (2) 仮定法の慣用表現、分詞構文を用いた慣用表現(1.5回)
 - (3) 〈前置詞＋目的語〉の慣用表現、進行形(1.5回)
 - (4) 使役動詞、定冠詞を用いた慣用表現(1.5回)
 - (5) 句前置詞、副詞節を導く接続詞(1.5回)
 - (6) 比較の基本表現、ラテン系比較級(1.5回)
 - (7) 仮定法過去完了、時を表す前置詞(1.5回)
 - (8) 完了形、関係副詞(1.5回)
 - (9) 同格表現、〈前置詞＋関係代名詞〉(1回)
 - (10) 間接疑問、集合名詞(1回)
 - (11) 期末試験(1回)

【教科書】

Useful College English (成美堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 成績評価
小テスト40%、期末試験60%
- II. 評価項目
 - (1) 文章の大意を素早く捉えることができるか。
 - (2) 読解、リスニング、文法の基本的な力が備わっているか。
 - (3) 普段から英語学習に取り組んでいるか。(小テストの結果を参照)

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
授業に際して、英和辞典を持参すること。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟1号棟503室、物質・材料 経営情報棟1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1:Summer Vacation: Reading Comprehension

Week 2:Article 1: Reading Comprehension

Week 3:Article 2: Reading Comprehension

Week 4:Review of Articles 1 & 2; Grammar &/or Discourse Analysis Exercise

Week 5:Article 3: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 6:Article 4: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 7:Review of Articles 3 & 4; Grammar & /or Discourse Analysis Exercise

Week 8:In-Class Writing

Week 9:Article 5: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 10:Article 6: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 11:Review of Articles 5 & 6; Grammar &/or Discourse Analysis Exercise

Week 12:Articles 7: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 13:Article 8: Reading Comprehension/Discourse Analysis

Week 14:Review of Articles 7 & 8; Grammar &/or Discourse Analysis Exercise

Week 15:Final Reading Challenge

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based primarily on reading exercises (comprehension quizzes, graded coherence and cohesion consciousness-raising activities, and graded question-making based on readings). There will also be a small number of writing assignments (primarily responses to “thought questions” raised by the readings). All graded activities will count equally unless otherwise noted by the professor. The majority of assignments will be done during supervised class hours.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

コンピュータ関連の英語を理解することがこの授業の目的である。基礎的な語彙を覚えて、簡単な文献を読めるようになることが目標である。

【授業キーワード】

コンピュータ英語

【授業内容及び授業方法】

コンピュータを扱った教材を用い、基礎的な文法項目を確認しながら、コンピュータに関する英語を学ぶ。コンピュータの専門科目ではないので、使用する教材は、工学部の学生であれば誰でも理解できるような基礎的な概念を扱ったものである。教科書を読みながら、基本的な文法事項の確認も行う。

【授業項目】

試験の週を除いた14週の予定である。6週目、14週目以外は教科書で学ぶ内容である。最後の週に期末試験を行う。

1. Introduction
2. Types of Computers
3. The Computer's Brain
4. Memory
5. Mass Storage
6. コンピュータを用いて情報の検索、英作文を行う
7. Input
8. Output
9. System and Application Software
10. Programming
11. Programming Languages
12. User-friendliness
13. Hackers and Viruses
14. コンピュータを用いて情報の検索、英作文を行う

【参考書】

Oxford Wordpower 英英辞典

【成績の評価方法と評価項目】

宿題25パーセント、期末試験75パーセント

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟506

【授業目的及び達成目標】

コミュニケーションに役立つ語法を中心に基礎英文法を学習する。合わせてTOEICのリスニング・テストに備える。

【授業キーワード】

基礎英文法、TOEICリスニング、コミュニケーション能力

【授業内容及び授業方法】

授業の初めに毎回、TOEIC対策のリスニング・テストを行う。専門分野の英語を読んだり、英語で論文を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解して欲しい英文法を数十のポイントにまとめ、それを学習した後、理解度を基本練習問題と応用練習問題で確認する。

【授業項目】

動名詞、分詞、副詞、前置詞、接続詞、受動態、比較・否定、疑問詞、関係詞、仮定法・話法、無生物主語・名詞構文、強調・倒置・省略・挿入

【教科書】

Basic Grammar for College Students (大学生のための基礎英文法—グラマーからリーディングへ—) 小中秀彦、成美堂

【参考書】

「英文法を知ってますか」渡部昇一 文春新書
「リーダーズ英和辞典」研究社

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均)20%、教科書の理解度についてのテスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aim of the course is motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

【授業内容及び授業方法】

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials and the dictation homework.

【教科書】

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)

2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)

3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)

4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)

5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Haga Lori(羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室、505室

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的リスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、小テスト、レポート(宿題)等により総合的に評価する。評価の詳細は、最初の授業時に示される。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

基本的な文法項目の確認と、それに基づいた簡単な英文を作る訓練を行う。教科書で扱う内容は以下の通りである。毎週2課ずつ進む予定である。1度コンピュータを用いて英語を書く練習を行う。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. Construction of Atoms | 13. Mass Production |
| 2. Mechanical Energy | 14. Parts of a Bicycle |
| 3. The Problem of Energy Storage | 15. Television |
| 4. Temperature | 16. The Thermostat |
| 5. Friction | 17. How to Solder |
| 6. Temperature and Molecules | 18. The Central Vacuum Cleaner |
| 7. The Doppler Effect | 19. The Computer |
| 8. The Screw | 20. Some Problems in Dam-Building |
| 9. Gears | 21. Concrete Construction |
| 10. Types of Clutches | 22. Prefabs in the United States |
| 11. The Combustion Engine | |
| 12. The Automobile-From Luxury to Necessity | |

【教科書】

科学技術英語の入門 (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題が25パーセント 期末テストが75パーセント

【留意事項】

Placement Test により受講クラスが決定される。
授業にはかならず英和辞書を持って来ること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506号室

【授業目的及び達成目標】

英文の構造および文法をきちんと押さえて正確に英文を読む能力の涵養。リスニング能力の向上。日本の事情、文化を英語で伝える能力を培う。

【授業キーワード】

的確な読解、文型の把握、文法の復習、リスニング能力の向上

【授業内容及び授業方法】

まず毎回、最初にTOEIC対策のリスニング小テストを行う。その後、ビデオ教材を使って4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するが、特に「読む」「聞く」に重点を置く。

【授業項目】

第1週はオリエンテーション、第2週から第14週までビデオ教材『Asian Crossroads(最新アジア事情)』を使い、第1章Phone Fad in Thailandから第7章のBanned Bemosまで学習する。第15週は授業内テスト。

【教科書】

Asian Crossroads(最新アジア事情)成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況が20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均点)20%、期末テスト60%、そのうち教科書の理解度テスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction、文法のプリント配布と説明
- 第2週 UNIT2:Phones keep Sweden's teens mobile
- 第3週 上と同じ
- 第4週 上と同じ
- 第5週 UNIT4:The Japanese and Leisure
- 第6週 上と同じ
- 第7週 上と同じ
- 第8週 UNIT5:Britain's History Full of Mystery
- 第9週 上と同じ
- 第10週 上と同じ
- 第11週 UNIT8:Vending the Rules
- 第12週 上と同じ
- 第13週 上と同じ
- 第14週 予備
- 第15週 試験

【教科書】

READING COOL(「リーディング・クール」)三修社

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験(85%)、授業時の活動と出席点を合わせて15%
期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

TOEICに備えたリスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

【授業キーワード】

ニュース英語、TOEIC

【授業内容及び授業方法】

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに(1)ビデオを見る(2)ボキャブラリーを学習する(3)教科書の本文の購読(4)練習問題(5)最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、TOEICのためのリスニング・テストを行う。

【教科書】

ABC World News(6)金星堂

【成績の評価方法と評価項目】

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力と適確な英文作成の基礎を習得する。

【授業キーワード】

Block 概念(品詞)、準動詞、関係詞と Wh 疑問文

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞等)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に To 不定詞)の意味が考察される。

毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポート(宿題)も課される。小テストは、主として虫食いによる英文完成と誤文訂正の形式で行われる。指定された単語帳からの単語小テストも実施される。最終日には最終試験に加え、単語小テストで取り扱ったすべての範囲からの最終単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 名詞 Block 間接疑問文 (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

佐藤・愛甲: 大学生の英語入門 (南雲堂)

荻野治雄: データベース 4500 完成英単語・熟語 (New Edition)(単語帳) (桐原書店)

その他プリント

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

David Thayne: 英語ライティングルールブック

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, レポート-20% 最終単語テスト-20%

最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

KENT, Giles (ジャイルズ・ケント)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

This course is intended to give students the opportunity to practice communication in an English language setting. Reading, writing, listening and speaking activities will all be used to help students to express themselves.

【授業キーワード】

Gaining confidence in listening and speaking.

【授業内容及び授業方法】

The students will be expected to use the text book and other reading materials provided to prepare for use in the class. Discussion of these topics will take place in pair and group work. Students will also give short presentations.

【授業項目】

Each week one unit from the text book will be covered.

【教科書】

Leo Jones: Let's Talk 1A (Cambridge University Press)

【参考書】

和英英和辞典

【成績の評価方法と評価項目】

Homework/Preparation for class/Use of English in class: 60%
Attendance: 20%
Final Exam: 20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

教科書を毎週2課ずつ進む予定である。1度コンピュータを用いて英語を書く練習を行う。最後の週に試験を行う。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. Construction of Atoms | 13. Mass Production |
| 2. Mechanical Energy | 14. Parts of a Bicycle |
| 3. The Problem of Energy Storage | 15. Television |
| 4. Temperature | 16. The Thermostat |
| 5. Friction | 17. How to Solder |
| 6. Temperature and Molecules | 18. The Central Vacuum Cleaner |
| 7. The Doppler Effect | 19. The Computer |
| 8. The Screw | 20. Some Problems in Dam-Building |
| 9. Gears | 21. Concrete Construction |
| 10. Types of Clutches | 22. Prefabs in the United States |
| 11. The Combustion Engine | |
| 12. The Automobile-From Luxury to Necessity | |

【教科書】

科学技術英語の入門 (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題が25パーセント 期末テストが75パーセント

【留意事項】

Placement Test により受講クラスが決定される。
授業にはかならず英和辞書を持って来ること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506号室

【授業目的及び達成目標】

英文の構造および文法をきちんと押さえて正確に英文を読む能力の涵養。リスニング能力の向上。日本の事情、文化を英語で伝える能力を培う。

【授業キーワード】

的確な読解、文型の把握、文法の復習、リスニング能力の向上

【授業内容及び授業方法】

まず毎回、最初にTOEIC対策のリスニング小テストを行う。その後、ビデオ教材を使って4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するが、特に「読む」「聞く」に重点を置く。

【授業項目】

第1週はオリエンテーション、第2週から第14週までビデオ教材『Asian Crossroads[最新アジア事情]』を使い、第8章Working alone in Thailandから第14章Picture Perfectまで学習する。第15週は授業内テスト。

【教科書】

Asian Crossroads(最新アジア事情)成美堂に変更

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況が20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均点)20%、期末テスト60%、そのうち教科書の理解度テスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction、文法のプリント配布と説明
- 第2週 UNIT11:How about some service
- 第3週 上と同じ
- 第4週 上と同じ
- 第5週 UNIT12:The Baiji:the endangered dolphin of the Yangtze River
- 第6週 上と同じ
- 第7週 上と同じ
- 第8週 UNIT17:Water woes
- 第9週 上と同じ
- 第10週 上と同じ
- 第11週 UNIT18:Amish Country stepping back in time
- 第12週 上と同じ
- 第13週 上と同じ
- 第14週 予備
- 第15週 試験

【教科書】

READING COOL(「リーディング・クール」)三修社

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験(85%)、授業時の活動と出席点を合わせて15%
期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

インターネット、コンピュータに関する基礎的な英語の文献を辞書を用いれば読めるようにする。

【授業キーワード】

コンピュータ英語、インターネット

【授業内容及び授業方法】

まず最初に下記のインターネットに関する題材を扱った教科書を用いてインターネットに関することを英語で理解できるようにする。実際に2度図書館のコンピュータを用いて教科書で扱う電子メール、ブラウザの使用法などを勉強する。それに加えて、コンピュータの基礎的な知識を英語で理解できるように学習する。なお、これについてはこちらでプリントを様子する。扱う内容の内、CPU、メモリー、大容量記憶装置などについて実物を見ながら理解を深める。その他に、ソフトウェア、プログラム言語、ワープロ、表計算などについても学ぶ。ワープロについては図書館のコンピュータでワープロソフトの「Word」を用い自己紹介の作文を書きながら簡単な使用法を学習する。

【授業項目】

インターネットの教科書で扱う内容は以下の通りである。

1. What is the Internet?
2. What One can Do with the Internet?
3. E-Mail
4. Getting Started
5. Lists and Newsgroups
6. FTP and Archie
7. Gopher and Veronica
8. WAISE and Telnet
9. The World Wide Web
10. Toward the Future

上記を毎週1課ずつ読み、残りの回をコンピュータのハードウェア等の理解、英作文に当てる。最後の週に期末試験を行う。

【教科書】

英語でインターネット (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力と適確な英文作成の基礎を習得する。

【授業キーワード】

Block 概念(品詞)、準動詞、関係詞と Wh 疑問文

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞等)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に To 不定詞)の意味が考察される。

毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポート(宿題)も課される。小テストは、主として虫食いによる英文完成と誤文訂正の形式で行われる。指定された単語帳からの単語小テストも実施される。最終日には最終試験に加え、単語小テストで取り扱ったすべての範囲からの最終単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 名詞 Block 間接疑問文 (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

佐藤・愛甲: 大学生の英語入門 (南雲堂)

荻野治雄: データベース 4500 完成英単語・熟語 (New Edition)(単語帳) (桐原書店)

その他プリント

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

David Thayne: 英語ライティングルールブック

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験=40%, 小テスト=20%, レポート=20% 最終単語テスト=20%

最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

KENT, Giles (ジャイルズ・ケント)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

This course is intended to give students the opportunity to practice communication in an English language setting. Reading, writing, listening and speaking activities will all be used to help students to express themselves.

【授業キーワード】

Gaining confidence in listening and speaking.

【授業内容及び授業方法】

The students will be expected to use the text book and other reading materials provided to prepare for use in the class. Discussion of these topics will take place in pair and group work. Students will also give short presentations.

【授業項目】

Each week one unit from the text book will be covered.

【教科書】

Leo Jones: Let's Talk 1A (Cambridge University Press)

【参考書】

和英英和辞典

【成績の評価方法と評価項目】

Homework/Preparation for class/Use of English in class: 60%
Attendance: 20%
Final Exam: 20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Haga Lori(羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室、505室

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、技能別に関心のある分野を学習しつつ、全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文、聞き取り

【授業内容及び授業方法】

英文法、英作文、聞き取り等の技能別分野に3クラス開講する。英文法のクラスでは基礎的な語彙、基本的な英文法をを学習する。英作文のクラスでは英文法の理解に基づき、語順などを含む基礎的な作文能力を身につける。聞き取りのクラスでは簡単な聞き取りの練習を行いつつ、読む能力の向上を図る。学生は自分の関心のあるクラスを受講することとなる。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験、小テスト、レポート(宿題)等により総合的に評価する。評価の詳細は、最初の授業時に示される。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、読解の基礎である文法事項を練習問題を解きながら学習する。また、辞書の使い方も学ぶ。また、学習した文法、辞書の使用法の理解を深め、実際に応用できるようにするため、青少年向けの百科事典などからの文章を読む。なお、学習する主な文法事項は下記の内容である。毎週1項目を学習する予定である。

1. 文の種類
2. 文型
3. 名詞
4. 基本時制
5. 進行形
6. 完了形
7. 助動詞
8. 態
8. 不定詞
10. 分詞
11. 動名詞
12. 関係代名詞

残り2回を下記の2,3の目的のために使う。最後の週に期末試験を行う。

(2) 自然に話された英語を聞き取る練習を行う。

(3) 書く技能に関しては図書館のコンピュータを用いて自己紹介の作文を書く。英語を書くことを学ぶと共に、コンピュータ、ワープロソフトの使用法なども学習する。

【教科書】

大学生のための基礎英語・文法 (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞・動名詞(3回)
7. 総合演習(最終試験を含む)(2回)

【教科書】

木村・田川・Howe:First Voyage: From Grammar to Reading, 南雲堂(授業用)
登美博之:語順が身に付く英作文, 朝日出版(レポート用)
その他プリント

【参考書】

James H. M. Webb:日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times
T.D.ミントン(青木義巳訳):ここがおかしい日本人の英文法 II, 研究社

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 単語テスト-20%, レポート-20%
最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。殆ど毎回学習事項に関する小テストが実施される。最終日には、最終試験に加え授業で扱った部分のテキスト、レポートと随時配布されたプリントにある全ての英文を範囲とする単語試験が実施される。普段から自分用の単語帳を作成することが必要となるであろう。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

科学トピックを扱ったビデオ教材を使って授業を進める。毎回はじめにリスニング小テストを行う。

【教科書】

Science for Inquiring Minds(ビデオで学ぶ暮らしの科学) 成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う(1)教科書の内容に関するテスト(辞書使用不可)、(2)応用問題として先生が選ぶ科学ニュース記事の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング小テスト、および(4)宿題の提出状況査定の結果の合計とし、割合は(1)が40%、(2)、(3)、(4)がそれぞれ20%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503,510室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve their four skills of reading, writing, speaking and listening. Finally, once the students have prepared their topics, the class will move onto the discussion phase of the course.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension quizzes (40%); student writing (40%); and class participation (20%). All reading comprehension quizzes will be administered during class hours; writing assignments will consist in both in-class responses to writing prompts and written homework.

【留意事項】

Placement Test により、受講クラスが決定される。

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

- I. 以下のトピックを中心に授業を行う。
 - (1) Smart Houses and Appliances
 - (2) Ubiquitous Computing
 - (3) World Poverty and Technology
 - (4) Smart Clothing and Nanotechnology
 - (5) Smart Cars and Roads
 - (6) Education and Technology
 - (7) Computer Games
 - (8) Cellphones and Haptics
 - (9) Global Warming and Energy
 - (10) Robotics
 - (11) Genomics
 - (12) Smart Cards and Security
 - (13) Neuroscience
 - (14) A Smart Future
 - (15) 期末試験

【教科書】

Future Smart (英宝社)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 評価方法
小テスト 40%、期末試験 60%
- II. 評価項目
 - (1) 科学情報に関する基本的な語彙力を習得していること。
 - (2) 英語で書かれた科学情報に関する基礎的文章の意味が把握できること。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎回、辞書を持参すること(電子辞書可)

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する

【授業項目】

- 第1週 Introduction、文法のプリント配布と説明
- 第2週 UNIT1:Seiji Ozawa
- 第3週 上と同じ
- 第4週 上と同じ
- 第5週 UNIT2:Naoko Takahashi
- 第6週 上と同じ
- 第7週 上と同じ
- 第8週 UNIT3:Regulation of Diesel Vehicles
- 第9週 上と同じ
- 第10週 上と同じ
- 第11週 UNIT9:Optimism and Long Life
Medicine
- 第12週 上と同じ
- 第13週 上と同じ
- 第14週 予備
- 第15週 試験

【教科書】

LIFE SCIENCE AND NEW BUSINESS (「ライフサイエンスとニュービジネス」)南雲堂

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験(85%)、授業時の活動と出席点を合わせて15%
期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

高橋 正平

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

【金曜日 1限】

- 第1週 Color and Behavior
- 第2週 Fish Oil
- 第3週 Indoor radon Pollution
- 第4週 Taste
- 第5週 Ozon and trhe Works of Art
- 第6週 Allergies
- 第7週 Human Diet
- 第8週 Sulfites
- 第9週 Soybeans
- 第10週 Low-Salt Soy Sauce
- 第11週 Ulcers
- 第12週 Wind-Resistant Houses
- 第13週 Shalloe-Bed or Rooftop Gardening
- 第14週 Potato Farming
- 第15週 期末試験

【金曜日 2限】

- 第1週 Pets' Effect on Health
- 第2週 Biological Clocks
- 第3週 Shyness
- 第4週 The Heimlich-Maneuver
- 第5週 Dendrochronology
- 第6週 Cholesterol Research
- 第7週 Tropical Cyclones
- 第8週 Superconductivity Progress
- 第9週 Bats
- 第10週 Treatments of Wounds
- 第11週 Memory Studies
- 第12週 Dreams
- 第13週 Synesthesia
- 第14週 Anhedonia
- 第15週 期末試験

【教科書】

【金曜日 1限】

中畑繁・ジョセフ・ベンソン:VOA日常生活の科学(1)(南雲堂)

【金曜日 2限】

中畑繁・ジョセフ・ベンソン:VOA日常生活の科学(2)(南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験:60%
出席:20%
授業での課題:20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on IDENTITY. I intend to finish one unit every two weeks. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

IDENTITY By Joseph Shaules, Tsujioka & Iida (Oxford University Press)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
英語による説明

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題:提出のない場合は不合格になるので注意すること 20%

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

KENT, Giles (ジャイルズ・ケント)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

This course is intended to give students the opportunity to practice communication in an English language setting and to discuss topics related to Engineering. Reading, writing, listening and speaking activities will all be used to help students to express themselves.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions. Communication.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

Students will be required to prepare at home for topics about themselves and for topics related to their study. These will then be discussed in pairs, groups or as a class together. Reading activities will also be introduced to the class to help the students achieve a level of fluency in their spoken English. Students will also give short presentations.

【授業項目】

Each week a different topic relating to Engineering and the world around us will be discussed.

【教科書】

All materials will be provided by the lecturer or by the students themselves.

【参考書】

和英英和辞典

【成績の評価方法と評価項目】

Homework/Preparation for class/Use of English in class: 60%

Attendance: 20%

Final Exam: 20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506号室

【授業目的及び達成目標】

英文構造と文法を把握して正確に英文を読む能力の涵養。リスニング能力の向上を目指す。併せて英語の背景にある海外の事情・文化の理解も目的。

【授業キーワード】

正確な読解、文法の復習、リスニング能力の向上、海外事情・文化の理解

【授業内容及び授業方法】

まず毎回、最初にリスニング小テストを行う。その後、英国の新聞の記事もしくはビデオ教材を使って4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するが、特に「読む」「聞く」に重点を置く。

【授業項目】

第1週はオリエンテーション、第2週から第14週までビデオ教材(外国テレビ局のニュース番組を素材にしたもの)もしくは最新の英字新聞(英国)記事を使って学習する。第15週は授業内テスト。

【教科書】

英字新聞記事を使う場合はプリント配布。ビデオ教材の場合は最初の授業で指示する。

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況が20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均点)20%、期末テスト60%、そのうち教科書の理解度テスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。殆ど毎回学習事項に関する小テストと、指定された単語帳からの単語小テストが行われる。レポートも課される。最終日には最終試験に加え、単語小テストで取り扱ったすべての範囲からの最終単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む)(3回)

【教科書】

随時, プリントを配布する。
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)
樋口忠彦他: Word Builder 基礎から学ぶTOEICテスト英単語熟語(南雲堂)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121 (The Japan Times)
L. G. Alexander, 原口庄助/原口友子(訳): ロングマン速解正誤辞典 (Pearson Education Japan)

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 最終単語試験-20%, レポート-20%
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503,510室

【授業目的及び達成目標】

The focus of this course will be on reading and writing.. Emphasis will be placed on thinking critically about a world in which science and technology seem to play an increasingly important role. Specifically, we will explore not only the purposes and potential benefits of science and technology, but also the potential dangers. Students will also be challenged to communicate their own ideas and images of the possible roles and uses of science and technology.

【授業内容及び授業方法】

Classes will typically proceed along the lines of the professor's "3R" guiding principles: Read, Reflect, and Respond. That is, students will be asked to read a number of articles related to the general theme of "science and technology." Emphasis will be placed on reading for understanding, with the expectation that students will be able to develop and articulate some questions and opinions about the material that they read. In some cases, students will be asked to prepare a written response to the material in which they move beyond restatement of the main factual points and express their own views. In the final weeks, students will view a video, "Sound And Fury," which underlines the conflict between technology and culture and raises questions about whether technological progress is always desirable. They will be required to reflect on and respond to this viewing experience.

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1:Professor's Self-Introduction (Listening &/or Reading Comprehension);

Explanation of the Course

Week 2:Student Self-Introductions (Oral & Written); Professor's Memory Challenge

Week 3:"What Are the Goals, Aims, or Purposes of Science & Technology?" (Part 1)

Week 4: "What Are the Goals, Aims, or Purposes of Science & Technology?" (Part 2)

Week 5:Article 1(Reading)

Week 6:Article 2 (Reading)

Week 7:Articles 1 & 2, Part 2 (Grammar, Syntax, & Discourse Analysis)

Week 8:Reflective Writing (Articles 1 & 2)

Week 9: Article 3 (Reading)

Week 10:Article 4 (Reading)

Week 11:"Discoveries, Inventions, & Improvements"

Week 12:Oral Presentations

Week 13:Video: "Sound And Fury" (Part 1)

Week 14:Video "Sound And Fury" (Part 2)

Week 15:Reflections on "Sound & Fury;" Final Words

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises (primarily comprehension quizzes); writing assignments (primarily responses to "thought questions" raised by the readings); and oral presentation. All graded activities will count equally unless otherwise noted by the professor. The majority of assignments will be done during supervised class hours.

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

新形式のTOEICを踏まえた演習問題を通じて、TOEICに対する基本的知識の理解とスキルの充実を図る。特に、リスニング、読解の基本力養成を主眼とする。また、ビジネス社会で使用される語彙や表現法も学習し、実社会での総合的なコミュニケーション能力の育成を図る。

【授業キーワード】

リスニング、リーディング、語彙

【授業内容及び授業方法】

使用テキストはリスニング・読解・語彙の演習問題から構成され、演習形式の授業を行う。まず、各ユニットに出てくる重要単語を踏まえ、リスニング・読解問題の順で授業を進める。授業は演習問題の答え合わせや解説を中心に、予習を前提に授業を行うので、受講生には事前の準備が求められる。授業の初めに随時小テストを行い、授業内容の習熟度をはかる。

【授業項目】

- I. 以下のトピックを中心に授業を行う。
 - (1) Computer and Society
 - (2) Business Transaction
 - (3) At the Office
 - (4) Cars and Society
 - (5) Eating and Drinking
 - (6) Shopping
 - (7) Entertainment
 - (8) Accidents & Crimes
 - (9) Teaching & Learning
 - (10) Medicine & Hospitals
 - (11) Finance and Banks
 - (12) Economy and Industry
 - (13) Geography and Travels
 - (14) Weather and Climate
- II. 期末試験

【教科書】

Total Strategy for the TOEIC TEST (成美堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 評価方法
小テスト(50%)、期末試験(50%)
- II. 評価項目
 - (1) リスニング、読解、語彙の基礎的な力が備わっているか。
 - (2) 授業内容を理解できているか。

【留意事項】

辞書を持参のこと。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aim of this course is to motivate the students to take responsibility for their own learning. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills through English. To discuss and give opinions on topics relevant to young professional people today.

【授業キーワード】

Dictation, Discussion, Vocabulary building

【授業内容及び授業方法】

In class I will concentrate on spoken English, giving students the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups. You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood. Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc;

Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on "Discover". I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials including the dictation homework.

WEEKLY PLAN (15 times)

Week 1 : Course Introduction / Evaluation Test

Week 2 : Environmental Problems

Week 3 : Changing States - Liquid - Solid - Gas

Week 4 : Internal-Combustion Engines and Alternative Fuels

Week 5 : Hybrid Vehicles

Week 6 : Bridges

Week 7 : The Fuel Cell

Week 8 : Generating Electricity / Review

Week 9 : Dams and the Environment

Week 10 : Solar Energy and Solar Cells

Week 11 : Hydrogen the Fuel of the Future

Week 12 : High-Speed Trains

Week 13 : The Greenhouse Effect

Week 14 : Global Warming / Review

Week 15 : Final Test / Course Wrap Up

【教科書】

"Discover" English Communication for Science Technology and the Environment. By Tom Goodier Sankyo Shuppan ISBN4-7827-0451-8

【成績の評価方法と評価項目】

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(Max 40%)

You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(Max 15%)

A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades.(Max 15%)

Active participation in the class activities and on assignments will be considered.

At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30% of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Please purchase the textbook at your earliest convenience. A dictionary is necessary.

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

村山 物質・材料 経営情報1号棟 503室 ドライアー 同棟 510 室

【授業目的及び達成目標】

The aim of this class is to enhance the students' abilities—especially the communicative ability to listen, speak, and express ideas—gained in the study-abroad program in the previous semester at McCauley University

【授業キーワード】

Communicative English; practical English; presentation

【授業内容及び授業方法】

The English native speaker and Japanese native speaker will cooperate in conducting the class. Based on what the students have studied at McCauley, the English native speaker will further encourage students to improve their listening and speaking ability, with emphasis on the oral presentation of their ideas. The Japanese native speaker will assist students in developing the basic knowledge of grammar necessary for communication.

【授業項目】

Classes are intended to confirm and reinforce the content of the McCauley program. Accordingly, classes will emphasize activities that promote aural and oral fluency. These will include in-class discussion; role-playing; and interviews organized around situations and topics especially relevant in an international context.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on both student achievement at McCauley and their demonstration of what they learn in our class. We will evaluate the totality of what students have retained from their experience at McCauley and what they learn in our class. Bases for evaluation will consist largely in student performance in interview and role-playing activities conducted in our class.

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

村山 物質・材料 経営情報1号棟 503室 ドライアー 同棟 510 室

【授業目的及び達成目標】

The aim of this class is to enhance the students' abilities—especially the communicative ability to listen, speak, and express ideas—gained in the study-abroad program in the previous summer at Manitoba University.

【授業キーワード】

Reading; grammar; idioms; communicative English

【授業内容及び授業方法】

The English native speaker and Japanese native speaker will cooperate in conducting the class. Based on what the students have studied at Manitoba, the English native speaker will further encourage students to improve their listening and speaking ability, with emphasis on the oral presentation of their ideas. The Japanese native speaker will assist students in developing the basic knowledge of grammar necessary for communication.

【授業項目】

Classes are intended to confirm and reinforce the content of the Manitoba program. Accordingly, classes will emphasize activities that promote aural and oral fluency. These will include in-class discussion; role-playing; and interviews organized around situations and topics especially relevant in an international context.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on both student achievement at Manitoba and their demonstration of what they learn in our class. We will evaluate the totality of what students have retained from their experience at Manitoba and what they learn in our class. Bases for evaluation will consist largely in student performance in interview and role-playing activities conducted in our class.

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

青木 和夫・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

機械建設1号棟602室, 物質・材料 経営情報1号棟510室

【授業目的及び達成目標】

The team-teachers hope to provide numerous opportunities for students to consider various issues relevant to the field of mechanical engineering while offering them instruction that will assist them in participating in their areas of interest at the international level. The Japanese instructor will present and teach factual information of importance in understanding the subject of mechanical engineering. The English native speaker will focus on presenting students with many examples of practical English-language usage in the field of mechanical engineering and assisting them in developing their ability to both comprehend and communicate in English for scientific purposes. Student product will also be required, in both written and oral forms.

【授業内容及び授業方法】

Students will be asked to read a number of English-language materials relevant to the field of mechanical engineering, with an emphasis on appropriate vocabulary, appropriate style, and general comprehension. In so doing, it is hoped that they will gradually develop a better feel for and understanding of the use of English for scientific purposes. Students will then be challenged to put their skills into practice through written and oral presentations. In these presentations, students will be asked to describe mechanical processes in natural and appropriate English that can be easily understood by the reader/listener. The first presentation will be 100–250 words, while the second presentation will be 250 words or more.

【授業項目】

Tentative Schedule
Week 1: Introduction of the Class
Week 2: Reading 1 (Comprehension)
Week 3: Reading 2 (Comprehension)
Week 4: Review of Readings 1 & 2 (Classroom Instruction/Exercises)
Week 5: Presentation #1: In-Class Work (Proposals)
Week 6: Reading 3 (Comprehension)/Presentation #1 Drafts
Week 7: Review of Reading 3 (Comprehension)/Oral Presentations
Week 8: Oral Presentations
Week 9: Vocabulary/Syntax Test
Week 10: Oral Presentation #2: In-Class Work (Proposals)
Week 11: Reading 5 (Comprehension/Vocabulary/Syntax)
Week 12: Reading 6 (Comprehension/Vocabulary/Syntax)/Presentation #2 Drafts
Week 13: Review of Readings 5 & 6 (Classroom Instruction)/In-Class Presentation Work
Week 14: Oral Presentations
Week 15: Oral Presentations/Final Words

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension exercises; grammar & vocabulary quizzes; and oral presentations. Oral presentations will count for 50% of the students' grades; the remaining 50% will be calculated by averaging all other graded assignments with equal weight.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、まず容易な英語で書かれている総合教材を用い、一文一文日本語に訳さず、おおその内容を把握する練習を行う。およそ1ページほどの本文に関して、さまざまな形式の内容理解を試す問題があり、それらのいくつかを学生諸君の様子を見ながら進めていく。それと同時に科学に関するある程度むずかしいと思われる文書をきちんと読める練習も行う。青少年向けの百科事典等から題材を求める。ここで文法の理解、英和辞典の引き方等を学習する。(2) 聞く能力をつけるために、何度か簡単なニュースの書き取りの練習を行う。(3) 書く勉強は図書館のコンピュータを用い、自己紹介の作文を書く。同時に簡単なインターネット・ワープロの使用方も学習する。

なお、読む練習で用いる教科書の内容は以下の通りで、毎週1項目を学習する予定である。あと2回は上記3の目的のために使う。最後の週に期末試験を行う。

1. Sharks: Useful Hunters of the Sea
2. A Brief History of Horses with Humans
3. Learning a Second Language
4. Food and Culture
5. The Importance of Exercise for Children 6. The New York City Marathon: A World Race
7. Margaret Mead: The World Was Her Home
8. Louis Pasteur: A Modern-Day Scientist
9. The Origin of the Moon
10. Maps: The Keys to Our World
11. Saving Lives with Weather Forecasting
12. Clues and Criminal Investigation

【教科書】

Themes for Today (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとなる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞・動名詞(3回)
7. 総合演習(最終試験を含む)(2回)

【教科書】

登美博之・Bill Benfield: 英文法から学ぶ基本英語, 成美堂(授業用)
登美博之: 語順が身につく英作文, 朝日出版(レポート用)
その他プリント

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times
T.D. ミントン(青木義巳訳): ここがおかしい日本人の英文法 II, 研究社

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 単語帳テスト-20%, レポート-20%
最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。殆ど毎回学習事項に関する小テストが実施される。最終日には、最終試験に加え授業で扱った部分のテキスト、レポートと随時配布されたプリントにあるすべての英文を範囲とする単語試験が実施される。普段から自分用の単語帳を作成することが必要となるであろう。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

科学トピックを扱った英文を読む。毎回はじめにリスニング小テストを行う。

【教科書】

Science for Inquiring Minds(ビデオで学ぶ暮らしの科学) 成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う(1)教科書の内容に関するテスト[辞書使用不可]、(2)応用問題として先生が選ぶ科学ニュース記事の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング小テスト、および(4)宿題の提出状況査定の結果の合計とし、割合は(1)が40%、(2)、(3)、(4)がそれぞれ20%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503、509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1:Professor's Self-Introduction (Listening &/or Reading Comprehension);

Explanation of the Course

Week 2:Student Self-Introductions (Oral & Written); Professor's Memory Challenge

Week 3:"Billy Badboy": A Consciousness-Raising Grammar Challenge

Week 4:"Billy Badboy": Review

Week 5:Article 1 (Reading Comprehension)

Week 6:"Reporter's Formula"-->Article 2 (Reading Comprehension)

Week 7:Articles 1 & 2, Part 2 (Grammar, Syntax, & Discourse Analysis)

Week 8:Reflective Writing: 1

Week 9:Article 3 (Reading Comprehension/Discourse Analysis)

Week 10:Article 4 (Reading Comprehension/Discourse Analysis)

Week 11:Articles 3 & 4, Part 2 (Grammar, Syntax, Discourse Analysis)

Week 12:Reflective Writing 2 ("What Is The Biggest Problem In The World Today?")

Week 13:In-Class Writing: Presentation

Week 14:Oral Presentation

Week 15:"If The World Were A Village of 100 People"

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises (comprehension quizzes, discourse analysis consciousness-raising exercises, &/or question-making tasks); writing essays; and possibly oral presentation. All graded activities will count equally unless otherwise noted by the professor.

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

I.以下のトピックを中心に授業を進める。

- (1) Electronic Ink (1.5回)
- (2) Botox (1.5回)
- (3) Earthquake Prediction (1.5回)
- (4) Fuel Cells (1.5回)
- (5) Traveling (1.5回)
- (6) Violence Gene (1.5回)
- (7) Smart Buildings (1.5回)
- (8) Asteroid Busting (1.5回)
- (9) Emerging Diseases (2回)
- (10) 期末試験 (1回)

【教科書】

Cutting Edge in Science (金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

I. 評価方法

平常点 40% (小テストを含む), 期末試験 60%

II. 評価項目

- (1) 文章を読んで、大意を把握することができるか。
- (2) 文章全体、あるいはパラグラフのキーセンテンスやキーワードに対する理解が十分であるか。
- (3) アカデミックな文章を読む上での基礎的語彙力が身につくか。
- (4) 語彙や語句のパラフレーズができるか。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
授業に際して、辞書を持参すること(電子辞書可)

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週 Introduction、文法のプリント配布と説明
第2週 UNIT11: Sony
第3週 上と同じ
第4週 上と同じ
第5週 UNIT14: Robots
第6週 上と同じ
第7週 上と同じ
第8週 UNIT18: Biomass and Fuel Cells
第9週 上と同じ
第10週 上と同じ
第11週 UNIT19: Recycling
第12週 上と同じ
第13週 上と同じ
第14週 予備
第15週 試験

【教科書】

LIFE SCIENCE AND NEW BUSINESS (「ライフサイエンスとニュービジネス」)南雲堂

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験(85%)、授業時の活動と出席点を合わせて15%
期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

高橋 正平

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

【金曜日 1限】

- 第1週 Bioplastics
- 第2週 Dandelions
- 第3週 Superbug Produces Ethanol
- 第4週 Smoking
- 第5週 Electric Cars and Fuel Cells
- 第6週 Parsley
- 第7週 Wetlands in the Netherlands
- 第8週 Leap Second
- 第9週 Aluminum and the Environment
- 第10週 Wood Power Centers
- 第11週 Underwater Volcanoes
- 第12週 The Acoustic-Thermometry of Ocean Climate
- 第13週 Ancient Ice and Weather
- 第14週 Solar Box Cookers
- 第15週 期末試験

【金曜日 2限】

- 第1週 Automated Highway
- 第2週 Stress Hormone Causes Memory Loss
- 第3週 Mathematics and the Brain
- 第4週 Music and Math
- 第5週 Ageless Cells
- 第6週 Control Tower Simulator
- 第7週 Iris Scans and Trains
- 第8週 NASA Launches Deep Space One
- 第9週 Anti-fat Drug
- 第10週 Hunger Hormone Discovery
- 第11週 HUMAN Speech Development
- 第12週 Lightning
- 第13週 La Niña
- 第14週 Night Lights and Eyesight
- 第15週 期末試験

【教科書】

【金曜日 1限】

西本典生:VOA Science for Today(金星堂)

【金曜日 2限】

西本典生:To the Future--VOA Special English Program(マクミラン ランゲージハウス)

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験:60%
出席:20%
授業での課題:20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on IDENTITY. I intend to finish one unit every two weeks. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

IDENTITY By Joseph Shaules, Tsujioka & Iida (Oxford University Press)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

KENT, Giles (ジャイルズ・ケント)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

This course is intended to give students the opportunity to practice communication in an English language setting and to discuss topics related to Engineering. Reading, writing, listening and speaking activities will all be used to help students to express themselves.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Communication.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成を目指して、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

Students will be required to prepare at home for topics about themselves and for topics related to their study. These will then be discussed in pairs, groups or as a class together. Reading activities will also be introduced to the class to help the students achieve a level of fluency in their spoken English. Students will also give short presentations.

【授業項目】

Each week a different topic relating to Engineering and the world around us will be discussed.

【教科書】

All materials will be provided by the lecturer or by the students themselves.

【参考書】

和英英和辞典

【成績の評価方法と評価項目】

Homework/Preparation for class/Use of English in class: 60%

Attendance: 20%

Final Exam: 20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題:提出のない場合は不合格になるので注意すること 20

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。殆ど毎回学習事項に関する小テストと、指定された単語帳からの単語小テストが行われる。レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。最終日には最終試験に加え、単語小テストで取り扱ったすべての範囲からの最終単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞 (2回)
3. 過去分詞の意味 (2回)
4. 不定詞の意味 (2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味 (2回)
6. 完了時制 (1回)
7. 語順のまとめ (2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

随時、プリントを配布する。
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)
樋口忠彦他: Word Builder 基礎から学ぶTOEICテスト英単語熟語(南雲堂)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121 (The Japan Times)
L.G.Alexander (著) 原口庄助/原口友子 (訳): ロングマン速解正誤辞典 (Pearson Education Japan)

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 最終単語試験-20%, レポート-20%
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受験するためには、実授業数の 4/5 以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。毎回の学習事項に関する小テストには、TOEICの出題形式によるテストも含まれる。

【担当教員】

村山 康雄・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟503, 510室

【授業目的及び達成目標】

The focus of this course will be on reading and writing.. Emphasis will be placed on thinking critically about a world in which science and technology seem to play an increasingly important role. Specifically, we will explore not only the purposes and potential benefits of science and technology, but also the potential dangers. Students will also be challenged to communicate their own ideas and images of the possible roles and uses of science and technology.

【授業内容及び授業方法】

Classes will typically proceed along the lines of the professor's "3R" guiding principles: Read, Reflect, and Respond. That is, students will be asked to read a number of articles related to the general theme of "science and technology." Emphasis will be placed on reading for understanding, with the expectation that students will be able to develop and articulate some questions and opinions about the material that they read. In some cases, students will be asked to prepare a written response to the material in which they move beyond restatement of the main factual points and express their own views. In the final weeks, students will view a video, "Sound And Fury," which underlines the conflict between technology and culture and raises questions about whether technological progress is always desirable. They will be required to reflect on and respond to this viewing experience.

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1: Professor's Self-Introduction (Listening &/or Reading Comprehension);

Explanation of the Course

Week 2: Student Self-Introductions (Oral & Written); Professor's Memory Challenge

Week 3: "What Are the Goals, Aims, or Purposes of Science & Technology?" (Part 1)

Week 4: "What Are the Goals, Aims, or Purposes of Science & Technology?" (Part 2)

Week 5: Article 1 (Reading)

Week 6: Article 2 (Reading)

Week 7: Articles 1 & 2, Part 2 (Grammar, Syntax, & Discourse Analysis)

Week 8: Reflective Writing (Articles 1 & 2)

Week 9: Article 3 (Reading)

Week 10: Article 4 (Reading)

Week 11: "Discoveries, Inventions, & Improvements"

Week 12: Oral Presentations

Week 13: Video: "Sound And Fury" (Part 1)

Week 14: Video "Sound And Fury" (Part 2)

Week 15: Reflections on "Sound & Fury;" Final Words

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises (primarily comprehension quizzes); writing assignments (primarily responses to "thought questions" raised by the readings); and oral presentation. All graded activities will count equally unless otherwise noted by the professor. The majority of assignments will be done during supervised class hours.

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

新形式のTOEICを念頭に置いた演習問題を通じて、TOEICに対する基本的知識の理解とスキルの充実を図る。特に、リスニング、語法、読解の基本力養成を主眼とする。また、ビジネス社会で使用される語彙や表現法も学習し、実社会での総合的なコミュニケーション能力の育成を図る。

【授業キーワード】

リスニング、語法、読解、語彙

【授業内容及び授業方法】

使用テキストはTOEIC形式に沿ったリスニング・語法・読解・語彙の練習問題から構成され、演習形式の授業を行う。まず、各ユニットに出てくる重要単語を踏まえ、リスニング・語法・読解問題の順で授業を進める。授業は演習問題の答え合わせや解説を中心に行い、予習を前提に授業を行うので、受講生には事前の準備が求められる。授業の初めに随時小テストを行い、授業内容の習熟度をはかる。

【授業項目】

- I. 以下のテーマを中心に授業を進める。
 - (1) 短縮形・否定
 - (2) イディオムの音・接続詞
 - (3) 消える音・5文型
 - (4) つながる音(1)・現在時制
 - (5) 応答の予測・過去時制
 - (6) 有声化する音・関係詞
 - (7) つながる音(2)
 - (8) 使役・知覚動詞
 - (9) つながる音(3)・仮定法
 - (10) 区別しにくい音・比較
 - (11) カタカナ英語の聞き取り・代名詞
 - (12) つながる音(4)
 - (13) 形容詞・副詞
 - (14) 無声化する音・未来時制
 - (15) 期末試験

【教科書】

TOEIC TEST: Subjects and Strategies (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 評価方法
小テスト 50%、期末試験 50%
- II. 評価項目
 - (1) リスニング、語法、読解、語彙の基本的英語力が備わっているか。
 - (2) 平素の授業内容が理解できているか。(小テストを参照)

【留意事項】

辞書を持参のこと。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506号室

【授業目的及び達成目標】

英文構造と文法を把握して正確に英文を読む能力の涵養。リスニング能力の向上を目指す。併せて英語の背景にある海外の事情・文化の理解も目的。

【授業キーワード】

正確な読解、文法の復習、リスニング能力の向上、海外事情・文化の理解

【授業内容及び授業方法】

まず毎回、最初にリスニング小テストを行う。その後、英国の新聞の記事もしくはビデオ教材を使って4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するが、特に「読む」「聞く」に重点を置く。

【授業項目】

第1週はオリエンテーション、第2週から第14週までビデオ教材(外国テレビ局のニュース番組を素材にしたもの)もしくは最新の英字新聞(英国)記事を使って学習する。第15週は授業内テスト。

【教科書】

英字新聞記事を使う場合はプリント配布。ビデオ教材の場合は最初の授業で指示する。

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況が20%、リスニング小テスト(最後の3回の平均点)20%、期末テスト60%、そのうち教科書の理解度テスト40%、実力テスト20%

【担当教員】

下村 匠・高橋 修・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

下村:機械建設1号棟703

【授業目的及び達成目標】

The team-teachers hope to provide numerous opportunities for students to consider various issues relevant to the field of civil engineering while offering them instruction that will assist them in participating in their areas of interest at the international level. The Japanese instructors will present and teach factual information of importance in understanding the subject of mechanical engineering. The English native speaker will focus on presenting students with many examples of practical English-language usage in the field of civil engineering and assisting them in developing their ability to both comprehend and communicate in English for scientific purposes. Student product will also be required, in both written and oral forms.

【授業キーワード】

technical term, technical reading, technical writing, presentation

【授業内容及び授業方法】

Students will be asked to read a number of English-language materials relevant to the field of civil engineering, with an emphasis on appropriate vocabulary, appropriate style, and general comprehension. In so doing, it is hoped that they will gradually develop a better feel for and understanding of the use of English for scientific purposes. Students will then be challenged to put their skills into practice through written and oral presentations. In these presentations, students will be asked to describe mechanical processes in natural and appropriate English that can be easily understood by the reader/listener.

【授業項目】

Tentative Schedule

Week 1:Introduction of the Class

Week 2: Reading 1 (Comprehension)

Week 3:Reading 2 (Comprehension)

Week 4:Review of Readings 1 & 2 (Classroom Instruction/Exercises)

Week 5:Oral Presentations: In-Class Work (Proposals)

Week 6:Reading 3 (Comprehension)

Week 7:Reading 4 (Comprehension)

Week 8:Review of readings 3 & 4 (Classroom Instruction/Exercises)

Week 9:Vocabulary/Syntax Test

Week 10:Oral Presentations: In-Class Work (First Drafts)

Week 11:Reading 5 (Visual Information/Comprehension/Vocabulary/Syntax)

Week 12:Reading 6 (Visual Information/Comprehension/Vocabulary/Syntax)

Week 13:Review of Readings 5 & 6 (Classroom Instruction)/In-Class Presentation Work

Week 14:Oral Presentations

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension exercises; grammar & vocabulary quizzes; and oral presentations. Oral presentations will count for 40% of the students' grades; the remaining 60% will be calculated by averaging all other graded assignments with equal weight.

【担当教員】

陸 旻皎・ドライアー ブライアン

【教員室または連絡先】

環境システム棟653室(陸)、物質・材料 経営情報1号棟510室(ドライアー)

【授業目的及び達成目標】

The team-teachers hope to provide numerous opportunities for students to consider various issues relevant to the field of environmental science while offering them instruction that will assist them in participating in their areas of interest at the international level. The Japanese instructor will present and teach factual information of importance in understanding the subject of environmental science. The English native speaker will focus on presenting students with many examples of practical English-language usage in the field of environmental science and assisting them in developing their ability to both comprehend and communicate in English for scientific purposes. Student product will also be required, in both written and oral forms.

【授業キーワード】

Environmental problems; useful vocabulary; curriculum vitae; reading

【授業内容及び授業方法】

Students will be asked to read a number of English-language materials relevant to the field of mechanical engineering, with an emphasis on appropriate vocabulary, appropriate style, and general comprehension. The team-teachers will be selecting materials tailored to the class—primarily English-language articles from newspapers, journals, and web sites—rather than utilizing any particular textbooks or reference texts. In so doing, it is hoped that students will gradually develop a better feel for and understanding of the use of natural English for scientific purposes. Students will then be challenged to put their skills into practice through written and oral presentations. In these presentations, students will be asked to address important environmental issues in natural and appropriate English that can be easily understood by the reader/listener.

【授業項目】

Tentative Schedule
Week 1: Introduction of the Class
Week 2: Reading 1 (Comprehension)
Week 3: Reading 2 (Comprehension)
Week 4: Review of Readings 1 & 2 (Classroom Instruction/Exercises)
Week 5: Oral Presentations: In-Class Work (Proposals)
Week 6: Reading 3 (Comprehension)
Week 7: Reading 4 (Comprehension)
Week 8: Review of readings 3 & 4 (Classroom Instruction/Exercises)
Week 9: Vocabulary/Syntax Test
Week 10: Oral Presentations: In-Class Work (First Drafts)
Week 11: Reading 5 (Visual Information/Comprehension/Vocabulary/Syntax)
Week 12: Reading 6 (Visual Information/Comprehension/Vocabulary/Syntax)
Week 13: Review of Readings 5 & 6 (Classroom Instruction)/In-Class Presentation Work
Week 14: Oral Presentations
Week 15: Oral Presentations/Final Words

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension exercises; grammar & vocabulary quizzes; and oral presentations. Oral presentations will count for 40% of the students' grades; the remaining 60% will be calculated by averaging all other graded assignments with equal weight.

【担当教員】

Valerie McGown (ヴァレリー・マクガウン)・村山 康雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟404室(マクガウン)、物質・材料 経営情報1号棟503室(村山)

【授業目的及び達成目標】

教科書を通じ、アインシュタインの一連の科学理論の構築を、その時代の社会・政治・経済的な背景を踏まえながら学ぶ。受講学生は、基本的な科学用語や言い回しのみならず、社会経済の用語や概念についての十分な基礎知識も得ることができる。大量の資料を読み込むことができるような読解力を身につけることを主要な目標とする。このためには下記2点も必要となる；
－ 英文法の能動的な理解と文章構築力の上達
－ 劇的な語彙獲得の拡張

【授業キーワード】

読解、文章構成、語彙獲得(自然科学、社会科学分野)

【授業内容及び授業方法】

第1週: A. 講義と教科書の概説。
B. ”Einstein For Beginners”の読解。(まず講義中に文節を読み、主要な語彙を定義、そして次回の文節を指定一の繰り返し)
C. ”Correction of Faulty Sentences”の文法ルールの解説。
(次回の講義で英文法の過ちを訂正)

第2週～第14週: 上記B. とC. の繰り返し。

第15週: 期末試験

”Correction of Faulty Sentences”(B.)【12回】

教科書中の演習は、名詞、形容詞、代名詞、動詞、助動詞、前置詞、接続詞の正しい使い方を扱い、受講学生の英文法に関する理解の洗練と強化を目指す。

”Einstein For Beginners”(C.)【14回】

”Correction of Faulty Sentences”にある演習に加え、受講学生は”Einstein For Beginners”から毎週15～20頁を読んで来る事を要求される。目標は本教科書を読破すること。読解力の養成と語彙の拡張を重点的に行う。また、受講学生は発音と口述の流暢さを向上させるために、講義中に音読することも要求される。

【教科書】

1. McGuinness, Michael and Joseph Schwartz, “Einstein For Beginners” (漫画版)
2. ”Correction of Faulty Sentences”

【参考書】

特になし

【成績の評価方法と評価項目】

宿題および授業中のテスト*30%

期末試験70%

*受講学生には、教科書”Correction of Faulty Sentences”から3回分を宿題として課せられ、また、”Einstein For Beginners”からも授業中のテストが課せられる予定。

【留意事項】

既にかかなりの英語力を持ち、それを更に伸ばしたい学生のためのadvanced courseである。

Class size will be limited to 15 maximum based on an interview and a reading exercise conducted during the first class with the teachers.

【担当教員】

小松 高行・塩見 友雄・石岡 精三

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 423; 327; 509

【授業目的及び達成目標】

科学技術論文読解への導入として、すでに把握できている専門的な内容を英語を通じて学習する。文法・構文に関するさらなる理解と基本単語と専門語彙の習得により、英語論文を正確に読むための基礎力を養成する。

【授業キーワード】

英文構造, 化学英語, 科学技術英語

【授業内容及び授業方法】

専門の教師と英語教師が共同で行う授業で、化学に関する基礎的な内容を表す英文をテキストとして用いる。最初に、英語教師が文法上・語法上の Point を簡潔に説明し、演習によって要点を再確認する。語法テストでは、学習事項を含む新たな英文を部分作文(虫食い)によって完成する(併せて、指定された単語帳からの単語小テストも実施される。最終日には最終試験に加え、この単語小テストで取り扱ったすべての範囲からの最終単語試験も実施される)。

次に、専門の教師が日常語彙を含め重要な単語の意味と発音を提示し、テキスト内容に関する簡単な導入を行う。単語テストが行われる。

当初は比較的短い英文を用い、極力全文訳を検討する。学習の進行につれて、問題となる箇所のみを検討を加え、多読を目指す。全文訳をレポートとして提出してもらうこともある。最終日には最終試験に加え、指定された単語帳の範囲からの最終単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 発音と発音記号(0.5回)
2. 名詞 Block(1.5回)
3. 疑問文構造(直接疑問 vs. 間接疑問)(1回)
4. 後置修飾(1)(形容詞だけでなく、分詞の意味・用法も含まれる)(2回)
5. 分詞表現と関係詞(3回)
6. 復習(1回)
7. It を用いた強調構文(1回)
8. To 不定詞の意味と用法(3回)
9. 動名詞の意味と用法(特に、前置詞の目的語として)(1回)
10. 後置修飾(2)(To 不定詞が用いられる場合)(1回)

【教科書】

プリント

荻野治雄: データベース 4500 完成英単語・熟語 (New Edition)(単語帳)(桐原書店)

【参考書】

奥津 文夫: 日本人の間違いやすい英語表現 (三修社)

【成績の評価方法と評価項目】

専門系教師: 単語等のテストー20%

英語教師: 語法・単語テストー30%、レポートー10%、最終単語試験ー20%、最終試験ー20%

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Haga Lori(羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟506室、505室

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的リスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教師が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、小テスト、レポート(宿題)等により総合的に評価する。評価の詳細は、最初の授業時に示される。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。